

What's IPE?

特集

チーム医療 シミュレーション動画を 撮影しました！



本学の特徴として開学以来4学科合同で展開しているインタープロフェッショナル(多職種連携)教育があり、全学年にわたって開講されています。この学修プロセスにシミュレーション教育を取り入れ、実践的な学びを強化していく方針が検討されており、教材の一環としてチーム医療シミュレーション動画が作成されました。

医療事故の原因の多くには、コミュニケーションエラーが関連しています。安全な医療を実現するためには、全ての職種が自身の役割と責任を認識し、組織や職種間のチームワークを向上させるためのスキルが求められています。今回作成した動画は、多職種で対応する診療場面を再現し、安全な医療を提供するためのコミュニケーションスキルを学ぶための教材となっています。

点滴をしている患者を安全に検査台に移動させるためのチームワークとコミュニケーション、人工呼吸器管理における医師からの間違った指示への対応について、それぞれに、良くない対応と良い対応のバージョンが作られています。学生が、良くない場面から考えて学び、良い場面を参考にしながら実践することを想定しています。

教材作成には、医療工学科・検査科学科・放射線技術科学科・看護学科の教員と大学院生や事務職員が参加しています。専門性の異なる職種が互いに連携を取り、協力しながら同じ目標に向かって活動した、まさに多職種連携によって作り上げられたものです。

(IPE専門部会 宮本毅治)



学生による
地域貢献活動
報告

若年女性に向けたがん検診促進事業 Cプロジェクトに、 看護学科学生が参加します！

福岡県が、女性がん検診受診率向上を目指し、特に検診受診率が低い若年層をターゲットにした「若年女性に向けたがん検診促進事業Cプロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトは、県内4大学(純真学園大学、西日本工業大学、福岡県立大学、久留米大学)に在籍する女子学生が企画メンバーで、若者の感性やアイデアを重視した検診啓発事業です。その主要メンバーに本学看護学生2名が選ばれました。彼女たちは、日頃から子宮頸がん予防啓発活動に携わるピアサークルのメンバーで、大学学園祭での子宮頸がん検診や地域での検診推進イベントを運営しています。



第1回会議でがん検診を受ける解決策として考えたコンセプトを、どのように表現してCMや動画等でターゲットに届けていくかについて話し合いました。「がん検診を受けよう」という言葉をただ投げかけるだけでは自分事のように考える人は少ないため、多くの人の目に止まるようなものを考えるのはとても難しかったです。若年女性が興味を持ちやすいような何かに例えたり、SNSを用いた表現をしたりして、表現の工夫の重要性について学ぶことができました。

前回決めたコンセプトを伝えるために、どのような表現や言い回しをしたら実際にがん検診に行く人が増えるのかを考えました。実際に映像化した時に、その映像をパッと見ただけで誰かの心に刺さる表現などを考えることは難しかったです。しかし、他大学の方や制作会社の方々と一緒に考えていくことでイメージを膨らませることができました。皆で意見を交流することでより良いアイデアが生まれることを体験できました。広告の出来上がりが楽しみです。

第2回会議を終えて

interview



松元希央弥さん
(看護学科3年)



水田綾香さん
(看護学科3年)